



原点とつらう 財産。

【福山城】

2022年に築城400年を迎える福山城。
福山のまちや暮らしの原点ともいえる
この城はどのように生まれ、根付いたのか。
その歴史や伝統を追いかけてみました。



春の福山城



戦前の福山城



村上範徳さん
(福山城博物館友の会会長)

まちの歴史は、
この城から始まった。

福山城は西国鎮衛の拠点として、
徳川家康の従弟にあたる水野勝成が
1619年に備後10万石の領主とな
り、築城に取りかかりました。
城の敷地に選ばれたのは、当時は干
潟だった芦田川のデルタ地帯でした。

この地に旧領主福島正則の支城であつ
た神辺城から多くの櫓を移築。第二代
將軍徳川秀忠の命により豊臣政権の
シンボルだった伏見城からも伏見櫓や
本丸御殿を移築。五層の天守の周辺に
配しました。

城の完成は1622年。本丸に12基
の櫓、二の丸、三の丸を合わせると26
基の櫓が立ち並んだといわれます。築城
と同時に城下町の整備も進め、まちを
福山と名付けました。

「当時の藩政は、民衆の暮らしをと
ても大切にしていたんです」。そう語
るのは2008年から福山城の観光
ボランティアガイドを務める村上範徳
さん。全国で5番目に早いとされる上
水道の設置、地子銭(現在の固定資産
税)の免除、寺社復興、産業の奨励な
ど、勝成の業績は多く挙げられます。
このほか沿岸部でい草や綿花の栽培
も奨励。びんご置表や備後餅は今もこ
の地域の特産品となっています。「まさ
に福山のまちや暮らしの原点がここ
にあるのです」と村上さん。

その後、城主は水野氏5代、松平氏
1代、阿部氏10代と続き、明治初期の
1873年に廃城。1945年の空襲
により天守閣や御湯殿などは焼失した
ものの、1966年の市制施行50周年
記念事業としてこれらを復元しまし
た。焼け残った伏見櫓や筋鉄御門は国
の重要文化財に指定されています。現
在、福山城がある福山城公園には、ふ
くやま美術館や福寿会館をはじめとす
るさまざまな施設が集まり、文化の発
信地として親しまれています。



水野寛禪さん
(賢忠寺23世住職)



水野勝成の墓所

福山城を築城した初代福山藩主水野勝成は88
歳で没し、この賢忠寺の境内に眠っています。
墓は巨大な五輪塔で高さは5.1mに及びます。
毎年春に勝成を偲ぶ法要をこの寺で行います。
福山のまちをつかった勝成の業績や情熱を後世
に伝えていくのが私の役割です。

美術を愛好し
四季を愛でる
美意識を育む。



ふくやま美術館

会員63人で作品の解説や運営のお
手伝いをしています。福山駅北側すぐ
という立地の良さと、日本近代美術や
イタリアを中心としたヨーロッパの名作
が揃う充実した作品群がこの美術館
の魅力。館内の窓からは美しい福山
城や庭の眺めも楽しめるんです。



高橋純さん(ふくやま美術館ボランティア「くすのき」会長)

多彩な「和」の設えが
「二期一会」を
演出してくれます。



佐藤厚子さん
(日本礼道小笠原流福山支部会長)

福寿会館

福山城の北側にあるこの福寿会館で年に5回
はお茶会を開いています。大きなお茶会では
400人くらいが参加するため、本館の大広間を
使わせていただくことが多いですね。書院造り
や数寄屋造りなどの和の設えが「一期一会」を
より格調高く演出してくれますよ。



人材育成に懸けた
正弘の情熱を
受け継ぐ。



山口哲治さん
(福山誠之館同窓会副会長)

藩校「誠之館」

藩校「誠之館」は1854年に福山藩主阿部正
弘が創設。正弘は当時の江戸幕府で老中首
座を務め、勝海舟などを登用しました。日本の未
来を担う人材育成に力を入れた正弘の情熱を
受け継ぎ、今に生かしていくのが私たちの役割。
同窓会活動を通じて福山を盛り上げていきたい
ものです。